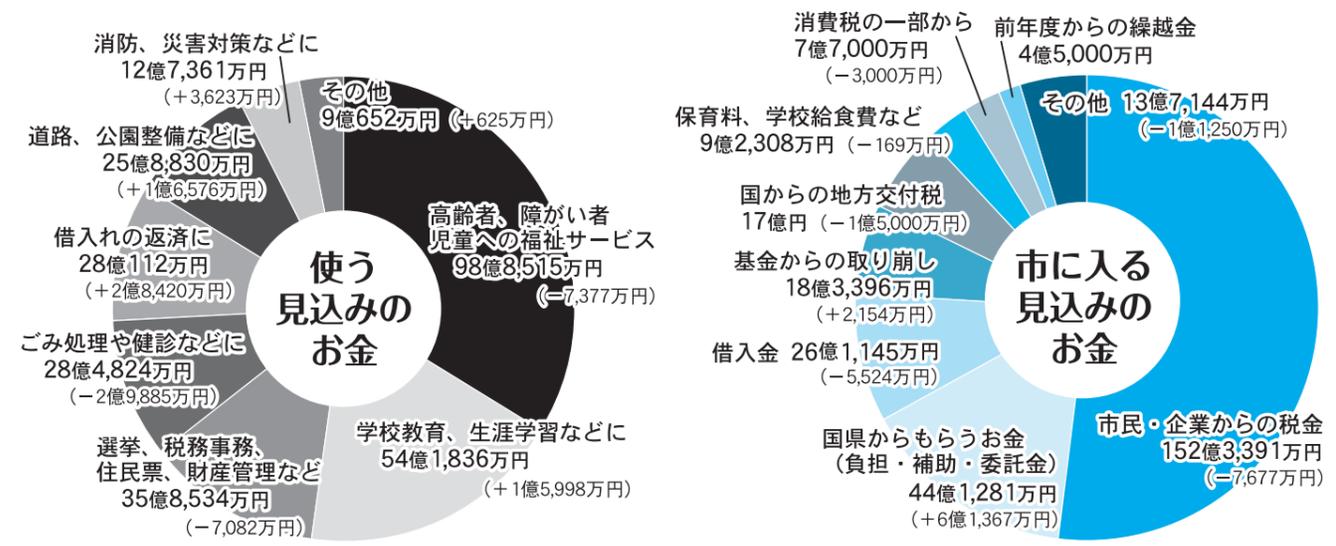




平成21年4月開校に向け建設が進む東台小学校

第一回定例会では、平成二十年度の一般会計予算など、三十五件の議案が提出され、住民から出された請願一件を審議。「食の安全確保を求め」などの意見書四件が、全会一致で採択され、関係機関に送付しました。後期高齢者医療に関する条例や、すでに実施されている障害者自立支援法との調整を図るための一部改定など十八件の条例を審議。いのちと暮らしを守る地方自治体の役割が議論されました。

一般会計予算総額 293億668万円



※ () 内は前年度比の増減額

施政方針に対する総括質疑

今後の市政運営は

自民クラブ

問 今後の発展を考えた市政運営について。

答 市の将来像である「自信と誇り、そして愛着のあるまち ふじみ野」の実現に向けた市政運営が必要であり、行政基盤の確立と財政の健全化をいかに達成するかが重要となつていきます。

問 市民との協働のまちづくりについて。

答 本年度からパブリックコメント制度をスタートさせ、市の政策形成過程における透明性の確保を図り、市民の市政参画をお願いしたい。

問 職員の意識改革と行動力の活性化について。

答 時代の変化に対応する人材の育成を、積極的に推進していく必要があります。効果的な職員研修、適正で公平な人事評価、適材適所の人事配置などの取り組みを行ない、地域社会の担い手となる職員の育成を図つてまいります。

後期高齢者医療制度の負担軽減を

日本共産党

問 後期高齢者医療制度の負担軽減を市独自に行なうべきではないか。

答 まずは国の制度に沿って進めていきます。

問 子ども医療費の無料化拡大が近隣市町でも進んでいるが、ふじみ野市ではできないのか。

答 現在の財政状況では不可

問 後期高齢者医療制度の負担軽減を市独自に行なうべきではないか。

答 まずは国の制度に沿って進めていきます。

問 行政計画づくりを各部署で委託しているが、職員が勉強して自前でつくってこそ、市民に役立つ計画になるはず。

答 職員の知識を生かし、実のある、市民に密着した計画をつくっていかねばならないと考えます。

問 危機管理問題から浮上した契約実務の専門性向上を図るべきでは。

答 共通仕様書の添付をはじめ、改善に努めています。

問 取り壊し後の市民プール建設はどうなるのか。

答 財政とのすり合わせをして、開設に向けて検討してまいります。

自信と誇り 愛着あるまち

小さな自治体実現とは

公明党

問 施政方針の中で、小さな自治体実現へのプロローグとあり、これは小さな自治体を目指すと思えたが、どのように考えるのか。

答 従来のように大きな経費で当たり前のことをしては、お金は不足します。今後は、行政が自らも汗をかき、市民・企業の協力を得て、少ない経費で大きな効果が得られる自治体を目指すべきと考えています。

問 冷凍ギョーザによる問題では、直ちに調査することを申し入れ、学校給食における安全を確認した。危機管理の

答 先進地の事例なども勉強し、どういった機能として発揮できるのか研究したい。パブリックコメント制度を、市民自治基本条例等の制度の中で組み込めればよろしいかと思つています。

問 「まちづくり基本条例」が三か年実施計画の中で位置づけられているが、市民自治基本条例との整合性は。

答 いわゆるまちづくり自治基本条例のような内容として考えています。

市民自治基本条例をどう考えるか

民主党・市民クラブ

問 長野県飯田市議会では、議会提案で「自治基本条例」が制定された。これは、従来の市民参加を一步進めて、住民・行政・議会が各々の役割を明確にし、地方分権を進めていこうというもの。どう考えるか。

答 先進地の事例なども勉強し、どういった機能として発揮できるのか研究したい。パブリックコメント制度を、市民自治基本条例等の制度の中で組み込めればよろしいかと思つています。